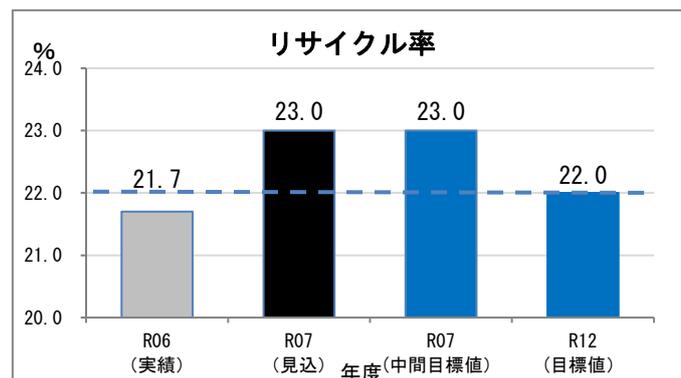
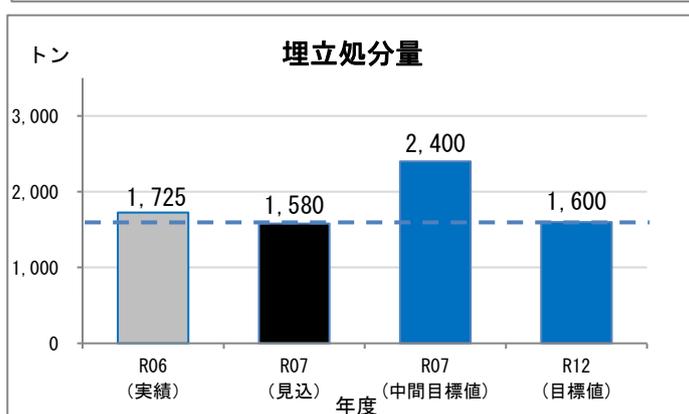
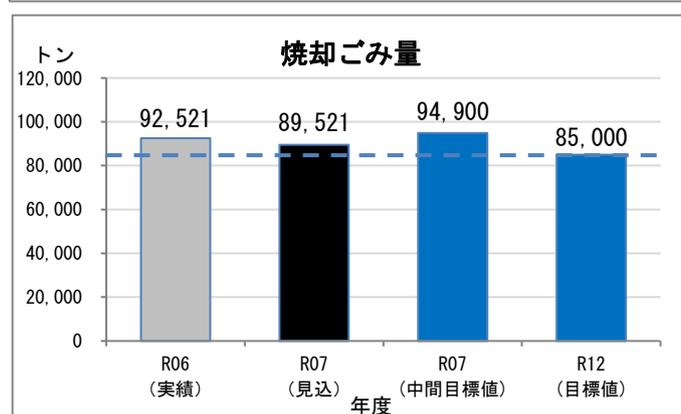
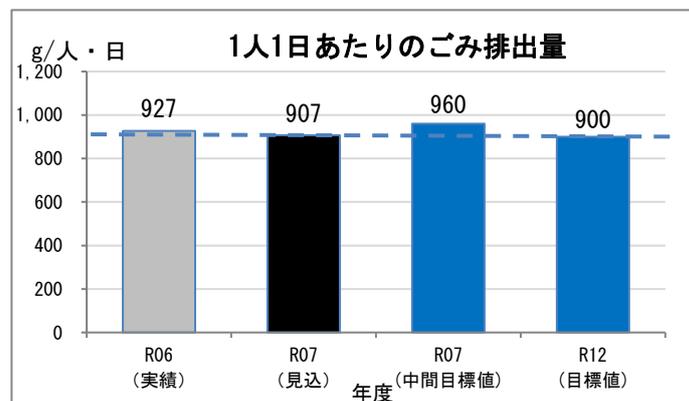
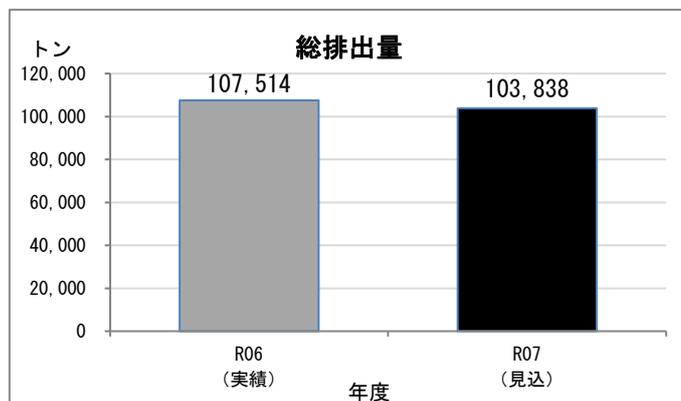


令和7年度ごみ排出量の見込みについて

(単位：トン, %)

区分	R06 実績	R07 実績見込	目標値	
			R07	R12(改定)
総排出量	107,514	103,838	-	-
【指標 No. 1】 1人1日あたりのごみ排出量	927	907	960	900
【指標 No. 2】 焼却ごみ量	92,521	89,521	94,900	85,000
【指標 No. 3】 埋立処分量	1,725	1,580	2,400	1,600
【指標 No. 4】 リサイクル率	21.7	23.0	23.0	22.0



第1回審議会で次回報告となっております、「令和7年度一般廃棄物（ごみ）処理実施計画の実績」における「取組の柱3 安定的・効率的なごみ処理体制の構築」「(2) 効率的なごみ処理の推進」の「ア 一般廃棄物会計基準によるコスト分析」について、報告いたします。

【参考】一般廃棄物会計基準によるコスト分析について

取組の柱3 安定的・効率的なごみ処理体制の構築

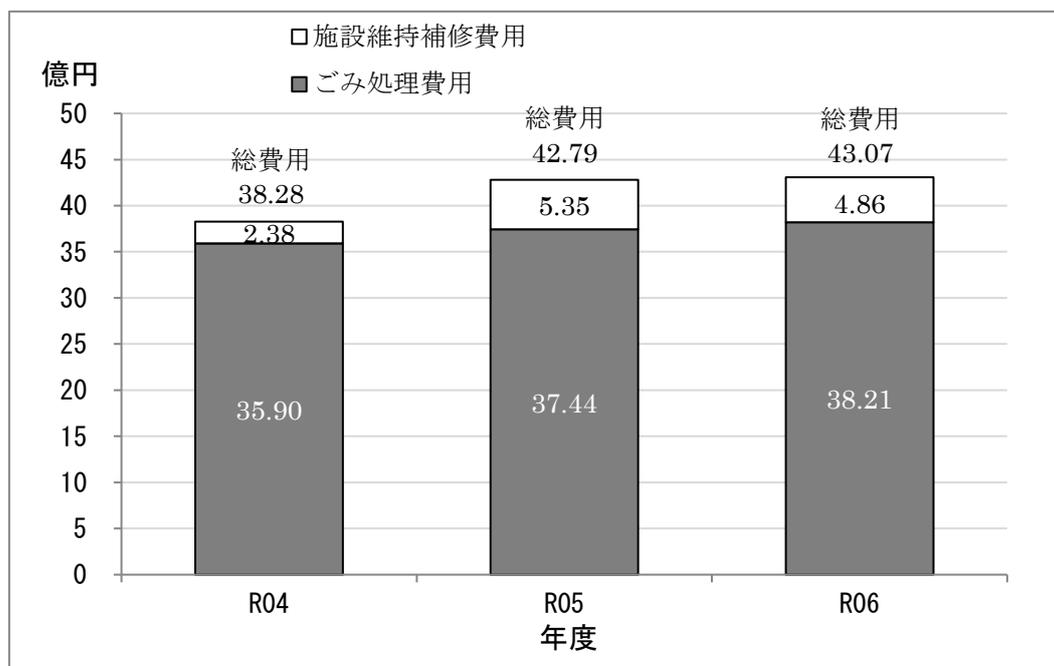
(2) 効率的なごみ処理の推進

ア 一般廃棄物会計基準によるコスト分析

(単位：億円)

	実績
R04	38.28
R05	42.79
R06	43.07

(※ 施設整備に関する減価償却費を除く。)



令和6年度は、南部・北部清掃センターやクリーンピーの家等の維持補修費は減少しました。一方で家庭ごみの収集運搬や施設の運転管理の人件費等が増加したことに伴い、令和5年度に比べ、費用は増加しました。

総費用については、基本計画の目標値には位置付けておりませんが、今後も持続可能な財政運営のため、引き続きコスト分析を行い、ごみ処理体制の効率化や適正な費用負担の検討をしていく必要があります。